

温暖化  
ネット  
対策  
市対

# 省エネ活動事業の推進校 新川、二俣瀬、岬、船木小に優秀賞

## 26日 表彰式

宇部市地球温暖化対策ネットワーク（UN

CCA、中西弘代表）は十八日、ファイフティ・ファイフティ事業（光熱水費等削減分還元事業）の中から、新川、二俣瀬、岬、船木の四小学校を先進的な省エネ教育校として優秀賞に選んだ。二十六日午前十一時から市役所で表彰

式を行う。

FF事業は、教職員や児童・生徒が協力し、環境教育の一環として省エネ行動を実践することにより、節減された光熱水費などの半分を実施校に還元し、さらなる環境保全意識の向上を図る取り組み。今年度は全小・中学校が実践している。

同ネットワークは、市の委託を受けて講師を派遣し、環境教育を支援している。今回、先進的な取り組みを広

く周知し、他校での水  
平展開を狙って選奨事業を実施した。十校が応募し、聞き取り調査と各校が提出した資料に基づき、中西代表ら六人が独自性、新規性、継続性、発展性、生徒の主体性、省エネ効果などの項目から優秀校を選んだ。

やビオトープでの自然  
体験学習などを評価。  
岬は高学年が掃除時間の節水を低学年に指導している点、ごみゼロ大作戦などの取り組みで選んだ。  
船木は環境委員会の設立やキャラクター、ポスターセッションで楽しく取り組んでいることがうかがえた。水道使用量のグラフ化など、省エネを具体的に示し、やる気につながっている。

（古重）

2009年2月19日  
宇部日報